

1. エネルギー代謝測定の際の実測値の吟味,あるいはエネルギー代謝率推定の資料として役立つために,呼気量や脈搏数とエネルギー代謝率との関係,作業速度とエネルギー代謝率との関係を調べる。

2. 先に演者の測定した各種の家事労働のエネルギー代謝率を,作業時の姿勢により二つに分け,楽な姿勢のものと,しゃがむ,はらばいになるなど胸部を圧迫するような姿勢のものとし,その各々について作業呼気量と R. M. R. との相関関係を調べた。作業のテンポと R. M. R. の関係については,運針,野菜切り,ふきそうじ等について速度を変えて R. M. R. を測定し,変化を調べた。

3. 作業呼気量と R. M. R. 脈搏数と R. M. R. の相関は高く,前者では,普通の姿勢のもので相関係数は 0.94 となった。

作業テンポと R. M. R. については, R. M. R. の大なる作業ほど変化の程度も大きくなる傾向がみられる。